

事業所における自己評価結果 (公表) 放課後等デイサービス

公表:令和6年2月28日

事業所名: Blossamジュニア中野沼袋教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	7				児童福祉法の基準を満たす 十分な広さを確保していま す。
	②	職員の配置数は適切である	7				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	7			トイレは1段段差がありま すが、施設内は全面バリ アフリーになっています。	
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	7			全体ミーティングやケース 会議でPDCAを意識して 行っています。	2.3か月に1度面談をし目標 設定・振り返りを行い意識し た行動が出来るようにして います。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	7				ご意見をいただいた際に は、スタッフ間で共有話し合 いをもち、業務改善につな げていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	7			初回の自己評価ですが、 事業所内に掲示、HPで公 開予定しています。	毎年アンケート調査を行い、 ホームページで公表し、業 務改善に努めています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている			7		第三者委員会の設置には 至っていませんが、連携し ている機関や有識者からの 評価を元に業務改善を行 います。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	7				新人研修や専門研修など、 定期的に参加し、職員全 員のスキルアップに努めて います。
適切 な支 援の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	7				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			担当する人が考案しミー ティング・シミュレーションを 必ず行っています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	7			週単位でプログラムを決 め、固定化しないよう努め ています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	7				
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	7				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	7			毎日ミーティングを行い、 支援内容や役割分担に ついて確認しています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	7			毎日の振り返りを行い、 お休みした職員はその日 の業務日報を確認してい ます。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			支援終了時に記録してい ます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			最低半年に一度見直しをしています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2			担当者会議にはまだ参加していませんが、相談支援事業者との聞き取りには児発管が対応しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7				必要に応じて連携していきます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					該当児童はいません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている					該当児童はいません。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	4		対象児童はいませんが、情報を提供出来るようにしています。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7				
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7				現在は積極的な実施をしていませんが、今後保護者の意向を踏まえながら検討していきます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	3	4			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			気になることがあった場合や課題について、送迎時に保護者と会話しています。	送迎時等にお話を伺ったり、電話での相談は随時行っており、共通理解を持つよう努めます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		2	5		ペアレントトレーニングは実施していない為、公的機関等のプログラムの募集がある際は情報提供をしていきます。
保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			契約時に書面・口頭で説明をしています。	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			保護者からの相談はすぐに対応しています。	相談があった際には時間を置かず迅速に対応かつ丁寧に対応するように努めます。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	3		今後ニーズを聞き取りながら開催を検討していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				迅速に事の経緯を説明し、保護者様の不満や不安の解消に努めます。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			ホームページのブログを更新し授業の様子をお知らせしています。	
	③⑤	個人情報に十分注意している	7				個人情報は鍵付き書庫にて保管しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			職員は常に児童特性理解に努め、伝わりやすい意思疎通の仕方やコミュニケーション方法を身に着け実践していきます。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	3		今後検討していきたいと思えます。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7				職員には周知していますが、保護者に対してはきちんと出来ていない為、改善していきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			半年に一度訓練の機会を設けています。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			定期的を実施しています。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		6	1	身体拘束が必要な対象児童はいません。	やむを得ず身体拘束を行った場合には、しっかりと記録を取り、保護者様へ説明をします。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			契約時にアレルギーの確認を行っています。	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			都度、ヒヤリハットの共有を行っています。	怪我や事故の際だけではなく、些細なことも記入していくよう努めていきます。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。